

スポーツを広める方策について

1 現在のスポーツ推進の基礎的戦略

① 基礎づくり (運動・遊び)



② スポーツの出会い・きっかけづくり (スポーツ紹介、体験会・イベント)



③ 志向に応じた継続 (生涯スポーツ・レクリエーション志向・競技選手志向)

2 直面している問題

- ① 担い手不足(スポーツ団体の減少、スポーツイベントの中止)
- ② 志向やニーズ、主体の多様化、スポーツ離れ
- ③ 子どもの外遊びや運動遊びの減少
- ④ 学校部活動の地域移行

3 課題

- ① 多様なニーズや志向に対応した機会（出合いやきっかけ）、継続の場の創出や新たな提案
「健康づくり」「介護予防」「子育て（親子の身体を介した心の交流、非認知能力・体力向上）」「教育」「共生社会づくり」「地域づくり」など公共の福祉への貢献の視点
- ② 多様な主体のスポーツ実施率向上
女性、家族・親子、こども、働きざかり世代、高齢者（特に男性）等対象別の働きかけ
- ③ 身近な場所での機会や場づくり
地域コミセン、事業所、公園、教育・文化施設、福祉施設、防災・防犯施設 など
- ④ 子どものスポーツ環境整備
「トップを目指したい」「うまくなりたい」「いろんなスポーツに挑戦したい」など志向の多様化に対応するスポーツ機会や場の整備、幼児期の運動遊び・外遊びの普及・浸透

4 課題に対応した重点方策

- ① 多様化に対応できる、ささえる・ひろめる「人材・組織」発掘・育成
 - ・これまでの枠に囚われない、スポーツ推進団体の育成支援（総合型地域SCなど、スポーツの多様化に対応する機会や場の創出、組織育成支援）
 - ・スポーツ指導者発掘・養成支援（次世代「ささえるスポーツ人材」育成支援、指導者へのきっかけづくりになるボランティア活用支援、指導者資質向上・定着化支援）
 - ・スポーツ団体のガバナンス・コンプライアンス力、マネジメント力の強化
- ② 地域にきめ細やかにスポーツを広めるための戦略の見直し
 - ・コミュニティ（センター）でのスポーツ・健康部会等、スポーツ推進委員連盟、地区スポーツ協会、競技団体、総合型地域SC等それぞれの協働、役割分担と共通ビジョンの明確化